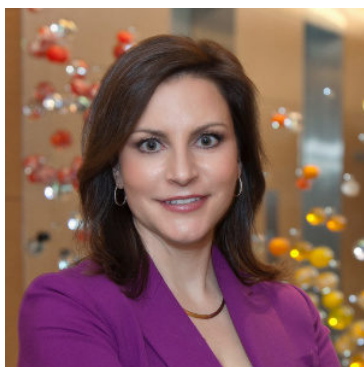


RACHEL WILSON

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Managing Director and Head of Cybersecurity of Wealth Management at Morgan Stanley
- Former Senior Executive at the National Security Agency



レイチェルウィルソンは、彼女のキャリアの最初の15年を国家安全保障局 [NSA] で過ごしました。彼女のNSAキャリアの過程で、彼女はいくつかの主要な上級管理職レベルの指導的地位を歴任しました。

2008年から2010年の間に、彼女はNSAの対テロ作戦を実行し、米国とその同盟国に対するテロリストの計画を検出して混乱させることでグローバル企業を率いました。

2010年から2012年の間、レイチェルはロンドンの米国大使館で働く英国のNSAの最高執行責任者を務めました。この役職で、彼女は英国の諜報機関と協力して、2012年のオリンピックに対するテロやサイバーの脅威に対抗しました。

2012年に米国に戻ったレイチェルは、5年近くを費やして [NSA] の Tailored Access Operations 内でNSAのサイバーエクスプロイトオペレーションを主導しました。この職務において、彼女は、さまざまな外国の諜報機関、軍事、およびサイバー標的に対する何千ものサイバー搾取作戦の計画と実行を主導し、NSAの最もリスクが高く最も重要な情報収集活動の多くの責任者を務めました。

2017年4月、レイチェルウィルソンは、モルガンスタンレーウェルスマネジメントアンドインベストメントテクノロジーの最初のサイバーセキュリティ責任者になりました。レイチェルウィルソンは、モルガンスタンレーウェルスマネジメントのマネージングディレクター兼サイバーセキュリティ責任者です。彼女は、ウェルスマネジメント、投資管理、プライムブローカレッジシステムのサイバーセキュリティ、および企業とクライアントのデータの完全性と機密性を保護する責任があります。さらに、レイチェルは、安全なコード開発標準、安全なネットワークアーキテクチャ、ベンダーとの関係、高度な持続的脅威 [APT] 検出、モバイルセキュリティなど、サイバーセキュリティの問題についてウェルスマネジメント、投資管理、プライムブローカレッジのリーダーシップに助言しています。彼女はまた、サイバーリスク、脅威、および軽減に関するフィールドおよびクライアントの教育とコミュニケーションを主導しています。彼女と彼女のチームは、新しいサイバーセキュリティと認証テクノロジーの革新を推進しています。

レイチェルは、モルガンスタンレーウェルスマネジメントによって [2019] MAKERS クラスの一部として認められました。このプログラムは、画期的な人物、革新者、支持者としての役割を果たす女性を称えるプログラムです。彼女はまた [ThinkAdvisor] によって WealthTech2020 のトップ女性の1人に選ばれました。

レイチェルは私的な立場で、個人、企業、機関にサイバーセキュリティのベストプラクティスと戦略についてアドバイスしています。彼女は、WATSCO Inc [NYSE] WSO の諮問委員会および Amgen Inc [NASDAQ] AMGN の CISO 諮問委員会のメンバーです。

レイチェルウィルソンは、テクノロジー、金融、専門家のフォーラムで人気のある講演者であり、最近、バロンのトップ100、全米計画アドバイザー協会

Topics

- Cyber Security
- Leadership
- Strategy
- Women

②NAPA②401k年次サミット、ポートフォリオ管理協会②PMI②年次会議、協会の基調講演を行いました② Professional Investment Consultants②APIC②年次会議、およびNational Association of Stock Plan Professionals AnnualConference②レイチェルは、子供や10代の若者をサイバー脅威から保護することについての第一人者であり、インターネット上で安全な市民になる方法について若者とその親を教育することを愛しています。レイチェルは、ウェルズリー大学で文学士号を、シカゴ大学で修士号を取得しています。レイチェルと彼女の夫は、2人の子供と一緒にニューヨーク市に住んでいます。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988